

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年5月14日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田 周二
レジメン名	R-ESHAP(アブレビタントカプセル)		
疾患名	非ホジキンリンパ腫	適応の備考	CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫
適応分類			
1コース日数	28	日間	総コース数 6
抗がん剤投与量・投与日	リツキシマブ375mg/m ² day1、エトポシド40mg/m ² ・シスプラチン25mg/m ² 各day2-5、キロサイド2000mg/m ² day6、ソル・メドロール500mg/m ² day2-6		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)				(day)																												
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	側管	生食500mL	0.675	本 / m ²	●																											
	点滴静注	リツキシマブ注	375	mg / m ²	下記	●																										
10倍に希釈する。																																
2	側管	生食50mL	1	本 / body	5分	●																										
	点滴静注																															
3	側管	アロキシ注ハック0.75mg	1	本 / body			●																									
	点滴静注	ソル・メドロール注	500	mg / body	15分		●																									
4	側管	生食100mL	1	本 / body				●	●	●	●																					
	点滴静注	ソル・メドロール注	500	mg / body	15分			●	●	●	●																					
5	側管	生食250mL	1	本 / body				●	●	●																						
	点滴静注	エトポシド注	40	mg / m ²	60分			●	●	●																						
100mg当たり、250mLの生食または5%ブドウ糖液に混和する。																																
6	側管	生食500mL	1	本 / body				●	●	●																						
	精密持続静注	シスプラチン注	25	mg / m ²	24時間			●	●	●																						
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する																																
7	側管	生食500mL	1	本 / body							●																					
	点滴静注	キロサイド注	2000	mg / m ²	3時間							●																				
キロサイドと同量の生食を抜いてから混注する。																																
8	側管	生食50mL	1	本 / body	5分						●																					
	点滴静注											●																				
9	経口投与	ボララミン錠2mg	1-3	錠 / body				●																								
	経口投与	ジクロフェナクNa錠25mg	1	錠 / body				●																								
リツキシマブ投与の30分前																																
10	経口投与	アブレビタントカプセル	125	mg / body							●																					
	経口投与											●																				
シスプラチンの投与1時間～1時間30分前に服用																																
11	経口投与	アブレビタントカプセル	80	mg / body					●	●																						
	経口投与										●	●																				
分1午前中に服用																																

【投与上の注意】

アブレビタントカプセル:各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。成人で5日間・12歳以上の小児で3日間を超えて投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
 アブレビタントカプセル:原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。
 アブレビタントカプセル:抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
 ・day2～6のデカドロン錠は、ソル・メドロール注を投与するので不要とする。
 エトポシド:DEHPフリー点滴静注使用。
 キロサイド:大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメトロン点眼、1日3回、両眼、キロサイド投与前日から投与終了の翌日まで。
 シスプラチン:24時間持続点滴で投与する。
 シスプラチン:希釈は生食のみ。
 シスプラチン:腎毒性軽減のためhydrationが必要。
 リツキシマブ:前投薬としてボララミン(2)1～3錠、ジクロフェナクNa(25)1錠を内服する。
 リツキシマブ:初回はECGモニターをつける。
 リツキシマブ:投与速度は初回は25mL/h×1h、100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
 リツキシマブ:2回目以降はinfusion reaction が初回になれば100mL/h×1h、残りは200mL/hとする。
 hydrationのため、day2-6に主ルートから輸液を24時間持続投与する。